



はじめの一步

教室ブログ更新中(<http://onestep-mtj.com/>)

vol.84

子どもたち一人ひとりにストーリーがあります！

地域密着で教室を長くやっていると通ってくれている子どもたち一人ひとりに、ご家庭一つひとつに教室との関わりがありそれぞれにストーリーがあります。みんなに特別なことがある訳ではなく毎日・毎回の授業が積み重なってストーリーになっていきます。子どもたちの数だけあるそれぞれのストーリーを大切にしています。そんな教室と子どもたちやご家族のストーリーの一つを紹介します。お隣のお家のお話かもしれませんし、明日のあなたかもしれません。日々の教室での出来事は教室ブログにて紹介しております♪ [ブログはこちら⇒](#)



ごあいさつ

こんにちは！ONE STEPは個別指導の目標達成塾です。

未来を作る子どもたちが、自分自身の目標を持って前に進む姿を、保護者様と一緒に見守り、時に悩み、時に笑い、共に喜ぶ。心を寄せて子どもの成長を導いていくことが私たちの務めだと思っています。

教室を開校して12年が経ちおかげさまで、兄弟姉妹でお通いいただき、ご家族とも長いお付き合いをさせていただけるようになりました。これまでのたくさんのお会いに感謝し、お礼の気持ちをこの地域に還元したいと、教育情報誌をお配りしております。小さい塾なので、大きなことはできませんが、小さなことこそ大切にしている地域に根差した個別指導型の学習塾です。

明るく元気な女の子

「どんな問題でも、分からない・出来ないと自分で決めつけて手が止まってしまう。そんな勉強の取り組み方を変えていきたい」お母様の要望から塾での学習がスタートした小2の子。物怖じせず、どんな先生とも積極的にコミュニケーションを取ることが出来る明るく元気な女の子です。授業をしてみると、こちらの説明をよく聞き指摘したことは素直に受け止めて直すことが出来るので、取り組み方もすぐ変わると思ったのですが。

「分からない」と伝えられず・・・

女の子と授業をすること数回。徐々に改善すべき点が見えてきました。それは、分からない問題にぶつかった時「分からない」と伝えられないことです。分からないことが恥ずかしいのか、または分からないと言うと怒られてしまうと思ったのか、「分かりません」の一言が伝えられず一つの問題で止まってしまうことが何回もありました。これがお母様が言っていたことだったんですね。最初はじっくり考えているのだと思っていたのですが、そうではなかったのです。問題が分からず悔しいと涙することも・・・。



分からないのは当たり前

女の子は分からないものがあり、それを『分かる・出来る』ようにしたいと思ひ塾に来てくれたわけです。ですから「分からない」のは当たり前。恥ずかしいことでも何でもありません。それを本人に伝えると、考えても分からないものがあつたら「先生分かりません」と言ってくれるようになりました。そうなると一緒に考え、説明する時間を取ることが出来ます。分からないからと手を止めてしまっていた時間が、考え方を身につけてトレーニングする時間に変えることが出来たのです。素直に分からないと言えるようになって、ちょっとずつ分かる・出来る喜びを感じられるようになり、今は悔しくて涙していたのがウソのように、楽しみながら勉強することが出来ています。

